

京都GPN-news vol. 44

京都GPN臨時総会 開催報告

TOPICS

2017年度より、京都GPNは全国GPNの地域ネットワークから離れます！



2016年10月27日 14:00~15:00にウイングス京都において臨時総会が開催され、京都グリーン購入ネットワークの会則改正案（①活動目的に「持続可能な消費と生産を拡大する」を追加、②会員を「全国GPN会員」と「京都会員」の2種類に分割、③全国GPN会員の会費の改定）が承認されました。

「京都グリーン購入ネットワーク（略：京都GPN）」は平成16年より「グリーン購入ネットワーク（略：全国GPN）（事務局：東京）」の地域ネットワークのひとつとして、京都府内で活動を行ってきました。京都GPNの会員は、京都GPNの会員であると同時に、全国GPNの会員でもありました。全国GPNは2015年度末に活動の強化・充実を目指すために会費の値上げを決定しましたが、京都GPNでは、幹事会、総会等で会費値上げに対して京都GPNとしてどう対応するか会員の皆様からの意見を聞きながら議論して参りました。全国GPNに属す企業・自治体とつながっていることや全国規模の情報を必要とされる会員から、京都府内のネットワークがあればいいという会員もおられます。この度の臨時総会で、これまで通り全国GPNの活動に参加し、全国と京都の動きに関する情報提供を受けられ、新しい会費が適用される「全国会員」と、会費はそのまま京都府内での活動や情報提供に限られる「京都地域会員」に分けてグリーン購入ネットワークの活

動を継続することとしました。

2017年4月から「全国会員」と「京都地域会員」で活動を進めようと準備を進めていたところ、12月に全国GPNから京都GPNの改正会則は「全国GPNの「地域ネットワーク運営規則」上、法人・団体会員は地域だけの所属は認めないこととなっており、団体要件から外れる」との指摘を受けました。そのため2017年2月6日の京都GPNの幹事会において、京都GPNは京都府内での活動を今後も引き続き行っていくこと、会費の値上げには賛同できないことの2点を確認し、改正した会則を元に戻すことはせずに、全国GPNの地域ネットワークとしての役割から離れることになりました。

これからのこと

会員の皆様には短い時間で恐縮ですが、3月中に2017年度以降、「京都GPN」の会員になるか「全国GPN」の会員になるかをお選びいただくこととなりました。正式なお案内は改めてお送りいたしますが、概要は以下の通りですので、ご検討いただければ幸いです。

	全国GPN	京都GPN														
活動範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国規模 ・ 国際GPN事務局も担い、海外のGPNとも連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に京都府内 ・ GPNや他の地域ネットワークとも連携 														
情報提供・活動への参加（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・ GPN シンボルマークの利用 ・ GPN ニュース、メールマガジン ・ えこ商品ネットへの掲載（有料） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ KGPN ニュース ・ 会員へのお知らせ ・ 京都 GPN 主催のセミナー、研究会等の参加 														
2017年度以降の会費（例）	<table border="0"> <tr> <td>従業員数500人未満の企業</td> <td>1万8000円以上</td> </tr> <tr> <td>行政機関（府県・政令市）</td> <td>2万円以上</td> </tr> <tr> <td>（市町村）</td> <td>1万5千円以上</td> </tr> <tr> <td>年間予算500万以下の民間団体</td> <td>5千円以上</td> </tr> </table>	従業員数500人未満の企業	1万8000円以上	行政機関（府県・政令市）	2万円以上	（市町村）	1万5千円以上	年間予算500万以下の民間団体	5千円以上	<table border="0"> <tr> <td>従業員数500人未満の企業</td> <td>1口1万円以上</td> </tr> <tr> <td>行政機関</td> <td>1万円</td> </tr> <tr> <td>年間予算500万以下の民間団体</td> <td>1口4千円以上</td> </tr> </table>	従業員数500人未満の企業	1口1万円以上	行政機関	1万円	年間予算500万以下の民間団体	1口4千円以上
従業員数500人未満の企業	1万8000円以上															
行政機関（府県・政令市）	2万円以上															
（市町村）	1万5千円以上															
年間予算500万以下の民間団体	5千円以上															
従業員数500人未満の企業	1口1万円以上															
行政機関	1万円															
年間予算500万以下の民間団体	1口4千円以上															

京都グリーン購入ネットワークでは、現在、京都府産食材を積極的に利用することは、地球温暖化対策、地域活性化、自分たちの住む地域の産物を知ることにもつながることをお伝えするために昨年度から地産地消キャンペーンを行っています。これからは、生産者や加工者の方と、消費者の方の顔の見える関係を築くことに力を入れてお手伝いしたいと考えております。社員食堂での地元産食材使用や、京都府産の食品の社内販売をCSRの取り組みとして検討されている企業の皆様、府内産食材の購入に関心のある団体の皆様、生産者の方をご紹介しますので、是非事務局までお問い合わせ下さい！

キャンペーンの概要

【キャンペーン期間】平成29年1月～3月

【参加条件】

①食堂（お弁当の提供も含む）で地元産食材・食品を1品以上利用もしくは、②地元産食材・食品を社内販売すること

【地元産食材・食品とは】

①京都府内産の農畜産物 もしくは②京都府内産原料の加工品（酒、お菓子を含む）

【主催】京都グリーン購入ネットワーク

【後援】京都市

取組み例 #1

タツタ電線(株) タツタテクニカルセンター(TTC)&京都工場

TTC（木津川市）では、弁当給食から調理給食へ移行しました。調理給食へ移行した狙いは、「従業員の健康管理の面から、栄養バランスとして1日30品目が摂れるように定食で15品目程度＋サラダバーで5品目の計20品目の食材を」会社給食として具体化したものです。京都府下の農園から仕入れた野菜で「サラダバー」をスタートとしヨーグルトも併せて提供しました。

翌年（H27年11月）には、京都工場（福知山市）も厚生棟の改修に併せ、TTCと同様のコンセプトの基、「サラダバー」も実施しました。当社では、通年を通じた京都府産の野菜提供を継続しています。



生産者を紹介



取組み例 #2

エスベック株式会社 福知山工場

地元で獲れた鹿肉を使用したブラウンシチュー 30食を社員食堂にて提供しました。弊社では2ヶ月に1度、鹿肉をメインとしたランチを社員に提供しているため、社員の鹿肉に対する抵抗感も少しずつ無くなってきているように感じます。

また、この日サラダに使用されているサニーレタスも地元産のものを使用しています。今後もこの取り組みを通じて、社員に気付きを促すことが出来るよう企業として取り組みを継続していきたいと考えています。



取組み例 #3

特定非営利活動法人 加茂女

地元産の竹と筍で木津川市の活性化を目指しているグループです。

ランチは1食800円です。

筍料理が必ず付きます。

器はすべて竹です。

ほとんどの食材は木津川市産です。

毎週木曜日だけしかして営業しておりませんが、是非1度、食べにお越しください。メンバー一同が心を込めて作っています。よろしく願い申しあげます。



今年度のキャンペーン参加団体

生産者の皆様

#1

こと京都株式会社

【提供できるもの】

九条ねぎの栽培、生産、加工、販売に特化した農業法人です。京野菜・九条ねぎの新しいカタチを探求し、その普及、マーケット拡大に努めています。国内シェア約20%の生産力で安定供給を目指します。



#2

京都向島農園

向島の若手農家4名のグループで品目・量ともに大小対応できる農家組織です。グループ4名を中心に他の農家のネットワークも生かして向島や京都の農業を盛り上げています。

【提供できるもの】

旬の野菜・農産加工品（味噌・シフォンケーキ・漬物・ジャム等）【品目】キャベツ・サニーレタス・レタス・きゅうり・大根・白菜・かぶ・各種京野菜等



#3

株式会社坂ノ途中

弊社は「未来からの前借り、やめましょう」というメッセージを掲げ、環境負荷の少ない農業の普及を目指して、主に関西の契約農家で栽培したく栽培期間中農薬化学肥料不使用の農産物および農産物加工品を販売しています。

【提供できるもの】

小松菜・ほうれん草・玉葱・人参・じゃがいもなど定番の野菜から、ピーツやケールなど西洋の珍しい野菜まで多種扱っています。また京都産の古代米（黒・赤・虹）はカラフルな色味と食感が好評を博しています。



#4

オリーブホットハウス

露地で低農薬（無農薬）野菜を栽培しています。地域の落ち葉を堆肥化（京都市ごみ減量推進会議助成）し、畑に還す循環型農業を目指し、山科なすや山科とうがらしといった地域の伝統野菜を栽培しています。時間と手間をかけた、化学調味料等に頼らない農産加工品を製造、販売することを大切に考えています。

【提供できるもの】

野菜全般、農産加工品（切干大根、大根古漬、ほしほも、お菓子 etc）、※冬野菜全般



第4回京都エネルギーフェアに出展しました。

2016年11月5日(土)に、みやこめっせ(京都市左京区)にて第4回京都エネルギーフェア(主催:京都市)が開催され、京都グリーン購入ネットワークのブースに会員のみなさまと出展しました。今回一緒に出展したのは、4団体で、それぞれの活動内容を説明・展示して頂きました。エネルギー問題に特化したイベントでしたので、関心の高い人も多く来場頂きました。

出展例

- ・日本エネルギー研究所(蛍光灯の明るさから発電を行う機器(商品名:エコファイブ)の紹介)
- ・認定NPO法人きょうとグリーンファンド(これまでに設置した市民参加型「おひさま発電所」の紹介)
- ・有限会社ひのでやエコライフ研究所(子供向け省エネゲームの紹介)
- ・株式会社大気社(工場、オフィスビル等の建築の際に行う環境配慮の紹介(CSRレポートを使って説明))



京都環境フェスティバル2016に出展しました。

2016年12月10日(土)～11日(日)に京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ、京都市伏見区)にて京都環境フェスティバルが開催され、ブース出展を行いました。「地産地消」をテーマに、京都グリーン購入ネットワーク会員の商工会の皆様の協力で、各地域の特産物をご提供いただき、販売をしながら、地産地消やグリーン購入の大切さを来場者の方にお伝えしました。今回は次の商工会の方に、ご協力いただきました。

- ・京丹後市商工会(醤油、快桑茶、桑の葉米などの桑の葉の製品、京丹後ちりめん折紙、特産品のパンフレット)
- ・向日市商工会(タケノコの水煮、タケノコごはんの素など)
- ・伊根町商工会(まぼろしの小豆(こまゆ)池大納言、伊根プリのパンフレット)
- ・長岡京市商工会(タケノコ製品のパンフレット)
- ・京田辺市商工会(京都府産の大豆を加工したパスタ・シリアル・チップスのパンフレット)
- ・京北商工会(京北地区の紹介パンフレット)



来年度もこのようなイベントに出展していきます。引き続き会員の皆様の活動紹介の場にしていく予定ですので、出展にご協力いただける方は是非事務局までお知らせ下さい。

お問合せ / 入会申込み



[京都グリーン購入ネットワーク事務局] ● NPO 法人 木野環境 ●

(所在地) 〒600-8085 京都市下京区葛籠屋町515-1 ひじきビル4階

<最寄り駅> ● JR京都駅 徒歩15分 ● 地下鉄烏丸線四條駅 / 阪急京都線烏丸駅 5番出口 徒歩5分

● 地下鉄烏丸線五条駅 1番出口 徒歩5分

TEL 075-708-8551 FAX 075-708-8062

Mail kgpn@dolphin.ocn.ne.jp Web http://www.k-gpn.org



この印刷物は古紙100%の紙を使用し、風力によって発電された自然エネルギーを利用して、植物油インキで印刷しました。

[2017年3月発行]

